特定非営利活動法人

たすけあい あさひ

第26回通常総会 議案書

日時：２０２４年６月９日（日）

１０時００分～

場所：Day あさひ

事務所　　横浜市旭区四季美台 28-1

理事長　　牧野 洋子

総会次第

１　　開会

２　　理事長挨拶

３　　議長選出

４　　資格審査

５　　議事審議

６　　閉会

審議事項

第 1 号議案

2023 年度活動報告

第 2 号議案

2023 年度決算報告について

第 3 号議案

2024 年度事業計画（案）

第 4 号議案

2024 年度予算（案）

第 5 号議案

役員選任について

は じ め の こ と ば

コロナの不安は落ち着いてきました。日々の業務が地道に進んでいます。たすけあいあさひの3事業、ケアマネ事業・デイサービス・訪問介護それぞれ頑張って研修に励みサービス内容充実に努めています。

今年は介護保険改定の年で報酬の動向が注目されていたのですが、残念なことに訪問介護の報酬だけが減額となりました。厚生労働省の事業所調査の結果において、訪問介護の利益率が高かったからだといいます。利益率 4%以上であったと。しかし、今日ご覧になってお分かりのように、当事業所利益率は2%です。

・基本、事業所調査を提出できる事業所は事務員を擁する規模の大きな事業所が多いこと

・事業所規模が大きいほど効率よい運営は可能であることは、

はっきりしています。そして　規模の小さい事業所の数が、圧倒的に多いことも明白です。国からのコメントでは、特定事業加算を取れば、単位減を上回ることができると、言われておりますが、それは一部であり私たちの場合は該当しません。

業界としては抗議の意向が広がっています。この業界は利用者の生活改善のために働くことが主眼とされているためか、自分たちの待遇についてはあまり発言をしない傾向がありました。このままでは訪問介護の業種を維持していくことは難しく思えます。しかし訪問介護は高齢社会のインフラ（生活を支える基盤）として重要であるとの調査言及もありますし、なくなれば大変なことになることは、直面している私たち自身がわかっています。行政の選択決定が不適切である場合、それを指摘していくことは社会として必要なことでしょう。発言すること、それを効果的に実施していくことを考えなければならないと思います。

年の初め、思いもかけない災害が能登で発生し、生活再建はまだこれからです。私たちにできるささやかな一助として、石川県宛に災害義援金50万円を送金しました。被災された皆様が早く元のような日々を取り戻していかれますよう願っております。

たすけあいあさひ理事一同

2023年度活動日誌

4	5	早坂税理士事務所監査	10	5	早坂税理士事務所監査
	10	認知症家族会		10	全体会議
	18	NEWSLETTER発行		18	NEWSLETTER発行
	24	全体会議		23	認知症家族会
		理事会		24	理事会
	25	あさひ通信発送			全体会議
				25	あさひ通信発送
				27	ストレスチェック実施（～11/3）
5	5	早坂税理士事務所監査	11	7	インフルエンザ予防接種
	8	理事会		8	早坂税理士事務所監査
		全体会議		10	全体会議
	22	理事会			インフルエンザ予防接種
		全体会議		14	全体会議
	25	あさひ通信発行		27	理事会
	26	健康診断申込み書配布			ストレスチェック労働基準監督署提出
	30	早坂税理士事務所決算報告会議			あさひ通信発送
6	8	早坂税理士事務所監査	12	6	早坂税理士事務所監査
	11	総会		12	全体会議
	12	全体会議		25	認知症家族会
	19	認知症家族会			全体会議
	26	全体会議			理事会
		理事会		26	あさひ通信発送
	27	あさひ通信発送			
7	5	早坂税理士事務所監査	1	5	早坂税理士事務所監査
	10	全体会議		18	NEWSLETTER発行
	18	NEWSLETTER発行		23	全体会議
	24	全体会議		25	あさひ通信発送
	25	あさひ通信発送		29	理事会
	31	理事会			
8	7	認知症家族会	2	6	認知症家族会
	8	全体会議		8	早坂税理士事務所監査
		認知症家族会		9	理事会
	9	早坂税理士事務所監査		12	認知症家族会
	22	理事会		13	全体会議
		全体会議		26	理事会
	25	あさひ通信発送			あさひ通信発送
				27	全体会議
9	6	早坂税理士事務所監査	3	16	早坂税理士事務所監査
	12	全体会		11	認知症家族会
	25	理事会		13	全体会議
		認知症家族会		18	臨時総会
	26	あさひ通信発送		25	理事会
				26	あさひ通信発送

第１号議案　　２０２３年度事業報告

2023 年 5 月 8 日にコロナ感染症が 2 類から 5 類感染症に移行し季節性インフルエンザと同じランクになりました。それに伴い 2023 年 6 月 11 日に 4 年ぶりに対面での総会を開催することが出来ました。感染には引き続き注意は必要ですが、新規依頼も積極的に受け入れ、前向きな活動の展開が出来ました。

（1）健康診断受診

全員に健康診断のお知らせを発送し受診を呼び掛けました。未受診の人には個別に電話で働きかけ受診を促しました。2023 年度は全員受診を達成しています。労働基準監督署に報告書を提出しました。

（2）IT 化

2023 年 8 月から居宅介護支援部門において介護保険の提供票の郵送を中止し、データ連携に切り替えました。業務の負担軽減や時間短縮が図れました。

訪問介護部門においては、実績入力をカイポケソフトを利用し、業務軽減を図りました。

（3）委員会活動周知

全体会の場で各委員会報告を年 1 回以上実施し、会議録を回覧しました。

衛生委員会は原則的に毎月開催しました。

（4）人材募集

QRコード付きのチラシを作りポスト投函し、事務所前の看板にも提示しました。

ホームページにも若い人に向けてのアピール文を掲載しましたが、なかなか

成果に結びつけることが出来ませんでした。

（5）生活あんしんサポート事業の継続

活動の継続を例年通り行いました。

（6）移送サービスオカピの周知

活動人員の問題もあり積極的な周知は行いませんでした。丁寧な対応を行い

利用者等からの評価を頂きました。

（7）全体会継続

月 2 回の開催を計画しほぼ実施しました。会議の内容を充実させ全体の交流を深めてきました。

２ 事業内容

(1)居宅介護支援事業

2023 年は２名退職となり介護支援専門員 8 名を配置。特定事業所加算Ⅱを算定。
施設入所やご逝去される方が多い中、積極的に利用者増加に向け取り組みました。
介護予防プランの委託や困難事例の依頼にも積極的に対応し、各地域包括支援センターや行政機関、医療機関との連携強化も図りました。
新型コロナウイルス感染症は 2023 年 5 月 8 日より 5 類と位置づけされましたが、感染予防に配慮しながら、徐々に以前のような訪問体制に戻し、ケアマネジメントの遂行に努めてまいりました。

・2023 年 11 月　居宅介護支援サービス事業者等集団指導講習を動画視聴しました。
・2023 年 11 月に令和 4 年度「介護サービス情報の公表」報告を行いました。
・前年同様、特定事業所加算Ⅱを取得するにあたり
　＊主任ケアマネジャー3 名配置いたしました。
　＊利用者情報やサービス提供上留意事項の伝達等を目的とした会議を週 1 回開催しました。
　＊24 時間連絡体制や相談ができる体制を確保しました。
　＊支援困難事例は地域包括と連携対応し、積極的に受け入れる体制を取りました。
　＊個々の介護支援専門員に対し、年間計画書を作成し研修を実施しました。
　＊施設や医療機関等と入院時や退院退所時に情報共有を行いました。
　＊他法人が運営する居宅介護支援と共同で研修や事例検討会を開催しました。
・全ての介護サービス事業所にサービス提供票をデータ送信を行い、カイポケソフト会員同士では実績データ受信を行いました。
・カイポケタブレット 8 台をレンタルし、業務効率化に努めました。
・旭ケアマネットの運営委員を継続し、旭ケアマネット主催研修の運営や出席をしました。
・お茶の水ケアサービス学院のネット配信研修、オンラインや対面講義での外部研修を積極的に受講。内部研修を年 7 回、事例検討会を年 2 回行い専門性の高い知識を取得しました。
・介護支援専門員更新研修に 1 名受講しました。
・介護支援専門員更新研修Ⅰにファシリテーターとして参加しました。
・フレンドシップあさひ地域通所介護運営推進委員会議へ 1 名出席しました。
・BCP（感染症・災害）シートを作成、机上訓練を実施しました。
・医療と介護（多職種）の連携強化とケアマネジャーの資質向上に取り組みました。
・認定調査依頼を受け 126 件実施しました。
・ホームページの内容を適宜更新しました。

	内部・外部研修・講習会	会議等
2023 年 04 月	認知症ケアの理解	ケアマネ会議 4 回
05 月	デイ説明会（web 研修） プライバシーの保護と個人情報について（web 研修） プライバシーの保護・個人情報取り扱いの理解	ケアマネ会議 5 回
06 月	職業倫理の理解と組織倫理へ取り組み 倫理・条例順守の理解 （web 研修） 倫理・法令遵守の理解	ケアマネ会議 4 回
07 月	旭区認知症をみんなで支える地域支援連絡会 認知症徘徊感知器について 家族信託・おひとりさま高齢者支援 二俣川ケアプラザ　包括レベル地域ケア会議	ケアマネ会議 4 回
08 月	事例検討 「独居で精神的に不安定なパーキンソン病 利用者の支援を考える」 感染症対策について	ケアマネ会議 5 回
09 月	横浜市ケアマネージメントの質向上のための ケアプラン点検 保土ヶ谷区ケアマネ合同連絡会生活保護のイロハ	ケアマネ会議 4 回
10 月	被害妄想の理解と支援 主任ケアマネジャー交流会 皮膚疾患について（褥瘡・蜂窩織炎・帯状疱疹） 在宅医療における心疾患　その治療問題点 感染症の予防と感染症対策について	ケアマネ会議 5 回 他法人との 共同研究会
11 月	ケアマネジャー事業所連絡会 旭区・緑区認定調査現認研修 ゆう在宅クリニック在宅医療勉強会 「心不全の在宅管理」 高齢者に多い整形疾患について 多職種連携の会 「顔の見える連携　横浜ほうゆう病院のトリセツ」 第3回　鶴ヶ峰・白根・左近山 CP 合同ケアマネ連絡会 虐待防止	ケアマネ会議 4 回
12 月	嚥下について　連携のポイントと各職種の専門性 旭区の今後の連携を考える 横浜市福祉調整委員会意見交換会 事例検討	ケアマネ会議 4 回
2024 年 01 月	旭区在宅医療相談室　多職種連携会議 ケアマネ連絡会「精神疾患について」 厚生労働省「R5 年度企業 BCP 策定支援セミナー （web 研修）	ケアマネ会議 4 回
02 月	あさひケアマネット「制度改正とデータ連携」 県・市町村主催　高齢分野　経営マネジメントセミナー （web 研修）	ケアマネ会議 4 回

	第 2 回みんなの会議（包括レベル地域会議） 保土ヶ谷区合同ケアマネ連絡会「訪問診療との連携」	
03 月	末期がんで介護申請中の方の支援について 緩和ケア研修会 心疾患別医療介護連携事業　心疾患	ケアマネ会議 4 回

	2022 年度実績	2023 年度実績
活 動 者 延 べ 人 数	120	98
利 用 者 延 べ 人 数（人）	3130	3221
予防利用者延べ人数(人)	1207	1197

月別利用者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護		277	272	270	267	265	263	270	266	264	268	267	272	3221
要支援	介護予防＊1	45	42	47	48	49	50	44	46	44	43	45	43	546
	日常生活支援総合事業＊2	60	59	53	52	54	50	54	52	54	53	53	57	651

＊1：医療サービス・福祉用具等を利用　　＊2：訪問サービス・通所サービスのみを利用

	2022 年度実績	2023 年度実績
訪 問 調 査	176	126

（2）訪問介護事業

サービス提供責任者会議を毎月2回開催し、訪問介護事業所運営について協議を重ね、収支やリスク管理について話し合い、問題解決を図りました。

① 介護保険事業 【訪問介護・第一号訪問事業（横浜市訪問介護相当サービス）】

・介護が必要な利用者（要支援・要介護にかかわらず）を積極的に受け入れました。
・今後も増大する介護ニーズへの対応や、質の高い介護サービス確保の観点から、10/12・10/26 に、タウンニュースにヘルパー募集の広告を入れました。新しい試みでQRコードを掲載し、ヘルパーの活動風景や、インタビューに答えたり楽しいものを作成しましたが、採用にはいたりませんでした。
・サービスの質の向上の為の内部研修を実施し、外部研修にも参加しました。
・特定事業所加算について話し合いをしましたが、今年も申請はしませんでした。
・業務の効率化のため、カイポケシステムの打ち込みなど、ICT 化を推進しました。
・ヘルパーに個人情報の適切な取り扱いのための研修を行い、チェックリストと個人情報保護に関する誓約書に署名をもらいました。
・処遇改善手当、特定処遇改善手当をヘルパーに支払いました。

＊生活援助賃金への上乗せ
＊身体介護賃金への上乗せ
＊活動時間に応じて一時金の支払い
＊サービス提供責任者・常勤・准常勤ヘルパーへの月額支給
＊グループ毎（Ⓐ経験・技能のある介護職員 Ⓑその他介護職員）の支払いをしました

・介護職員処遇改善支援補助金（介護保険）処遇改善臨時特例交付金（障害）についても申請をしました。
・契約書、マニュアルの見直しをしました。
・利用者アンケートを行い、サービスの質の向上を目指しました。
・書類を整理整頓し、パソコンにスキャン保存しました。
・介護保険の公表制度の届け出をしました。11 月提出。
・横浜市からの配布について
　横浜市より、コロナ感染症対策として、ディスポ・グローブの配布がありました。
・横浜市高齢者施設等物価高騰対策支援事業
　光熱費・燃料費・食糧費の高騰に対する支援として、訪問介護事業所に 42，000 円の交付がありました。
・今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ対策として、マスク・ディスポグローブ・手指消毒剤の配布をしました。
・令和 5 年度横浜市居宅サービス事業者等集団指導講習会を動画視聴しました。
（令和 5 年 10 月 18 日）

	内部・外部研修	会議等
2023 年 04 月		サービス提供責任者会議 2 回 オカピ会議
05 月	2024 年の介護保険改正と訪問介護の未来について	サービス提供責任者会議 2 回 オカピ会議
06 月	ヘルパー全体研修（1 回目） 倫理、法令遵守、個人情報保護・プライバシー保護、 接遇、虐待防止、クレーム対応・苦情対応、 各自目標設定、身体拘束の適正化 虐待防止委員会の意義と役割（オンライン）	サービス提供責任者会議 2 回 オカピ会議
07 月	かなふく総合基礎講座（1 日目） 倫理と法令順守、尊厳保持、プライバシーの保護、 接遇マナー（オンライン） かなふく総合基礎講座（2 日目） 感染症と食中毒対策、身体拘束等の排除、 虐待防止（オンライン） かなふく総合基礎講座（3 日目） 介護予防と要介護進行予防、認知症の理解とケア （オンライン）	サービス提供責任者会議 2 回 オカピ会議 身体拘束適正化検討委員会

	かなふく総合基礎講座（4 日目） リスクマネジメントと災害時の対策（オンライン）	
08 月	プレゼンテーション研修 （福祉に生かすプレゼンテーション技術）	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
09 月	2023 年度神奈川らくらく介護研修（基本）	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
10 月	PT から学ぶ明日から使える介護技術 ヘルパー内部研修（2 回目） 感染症対策と蔓延の防止、食中毒発作の予防、 認知症のケア	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
11 月	ヘルパー内部研修（3 日目） 緊急時・災害時の対応、業務継続計画について	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
12 月	オカピ担当者内部研修・車いす車載時の固定について 横浜市福祉調整委員会意見交換会	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
2024 年 01 月	精神障がいの理解と対応（オンライン） 知っていますか？医療行為ではない行為～知らないと それ問題ですよ～ 横浜市ガイドヘルパースキルアップ研修「話し合う」を 考える～チームアプローチのために～	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
02 月	障害のある子の「親亡きあと」～「親あるあいだ」の準備 （オンライン）	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議
03 月	障害者虐待防止の現状と課題について（オンライン） 心房細動アブレーション及び心不全治療薬の現状	サービス提供 責任者会議 2 回 オカピ会議

2023 年度

月	訪問介護		総合事業		合計		
	活動 時間数	利用 者数	活動 時間数	利用 者数	活動 時間数	利用 者数	活動 者数
4	1,005.79	117	275.75	56	1,281.54	173	52
5	1,014.22	105	296.75	52	1,310.97	157	52
6	1,054.32	117	298.00	51	1,352.32	168	52
7	1,005.07	115	294.75	51	1,299.82	166	54
8	1,019.48	144	301.25	49	1,320.73	193	52
9	983.65	110	273.75	48	1,257.40	158	52
10	951.15	106	269.75	47	1,220.90	153	52
11	961.41	109	287.25	48	1,248.66	157	53

12	985.49	108	257.50	48	1,242.99	156	51
1	947.24	104	252.50	48	1,199.74	152	50
2	967.24	110	243.25	46	1,210.49	156	49
3	919.83	103	228.75	44	1,148.58	147	51
合計	11,814.89	1,348	3,279.25	588	15,094.14	1,936	620
2022年度実績	12,838.38	1,325	3,414.68	603	16,253.06	1,928	649

② 介護保険外の公的ホームヘルプ事業

＜障害者総合支援＞

・障害者総合支援法における居宅介護、同行援護及び移動支援のサービスを提供しました。
・2023 年度指定障害福祉サービス事業所等集団指導に出席しました。
・介護職員処遇改善加算Ⅰ、介護職員特定処遇改善加算Ⅱ、介護職員等ベースアップ等支援加算の届出をし、ヘルパー賃金に上乗せをしました。また、介護職員特定処遇改善加算Ⅱは、ヘルパーの資格と勤続年数、1か月の平均活動時間により支給しました。
・個人情報の取り扱いについてチェックリストを作成し、サービス提供責任者及びヘルパーに周知し、適切な管理を行いました。
・5 月 23 日に指定障害福祉サービス等実地指導を受けました。
・契約書、マニュアルの見直しを行いました。
・横浜市に障害福祉サービス等事業所情報の届出をしました。

	2022 年度実績	2023 年度実績
活動者延べ人数(人)	1,035	1,015
利用延べ世帯数(世帯)	597	591
活動件数(件)	4,854	4,513
総活動時間数(時間)	5,343.0	5,533.0

③ 任意ホームヘルプ活動（横浜市生活あんしんサポート事業）

・たすけあいあさひの特性を生かした有償ボランティア活動として、公的制度を利用出来ない方々へのホームヘルプ活動や、公的サービスでは適用出来ない依頼（共有スペースや院内介助など）に応じて活動しました。
・本年度は、通院介助・入退院のお世話・買物支援・掃除・洗濯・食事作り・外出介助（お散歩含む）・換気扇の掃除・草むしりなど、幅広い活動が出来ました。

	2022 年度実績	2023 年度実績
活動者延べ人数(人)	473.0	321.0
利用延べ世帯数(世帯)	502.0	421.0
活動件数(件)	3,068.0	2,233.0
総活動時間数(時間)	3,169.75	3,038.75

④移送サービス「オカピ」

	2022 年度実績	2023 年度実績
ドライバー延べ人数	84 人	89 人
利用者数	99 人	91 人
利用者延べ数	694 人	683 人
活動延べ件数	3,657 件	3,685 件

・乗務前にドライバーへ体調の確認を継続し、安全運転に努めました。
・令和 5 年 12 月より乗務前、乗務後にアルコール検知器での検査を開始しました。
（始業時、終業時の一日 2 回実施）
・新型コロナウイルス感染予防対策とし、車内の消毒と換気を徹底しました。
・11 月 10 日にオカピ 1 号車を新車へ入れ替えました。
・毎月オカピ会議を開催し、利用者の情報の共有と常に安全運転を心がける意識の向上を図りました。
特に一時停止の方法、横断歩道の通過時での歩行者優先・保護など意識の向上を図りました。
・12 月 15 日に安全に車両への車いす乗降操作の確認と操作の統一性を持つため、車いす取り扱い研修を実施しました。
・12 月 1 日に「福祉有償移動サービス担当者」外部研修に参加・受講しました。
・横浜市在宅重度障害者福祉タクシー券の取り扱いをしました。
（年間延べ利用者　199 人　1,744 枚）

ア.お出かけ企画
令和 5 年度も新型コロナウイルスの影響により、お出かけ企画の実施は見送りました。

イ.任意外出ケア
公的サービスでは利用できない場所に福祉車両を利用して、利用者の希望に沿った外出ケアを実施することが出来ました。
ららぽーと横浜、横浜そごう、西友二俣川店、フォレオ四季の森店
イオン三ツ境店、イオン東戸塚店、イオン星川店、コーナン星川店
旭図書館、ラポール、ふれあいの杜、本立寺
左近山ショッピングセンター、ジョイナステラス二俣川

ドンキホーテ二俣川店、いなげや、セブンイレブン、ファミリーマート
相鉄ローゼン白根店、相鉄ローゼン希望が丘店、相鉄ローゼン鶴ヶ峰店
クリエイト、ＨＡＣ、美容院・理髪店

（3）地域密着型通所介護・通所介護相当サービス

Dayあさひ

・感染予防対策として、送迎車消毒、食事時アクリルパーテーション設置、朝、昼検温、手指消毒、換気、利用者スタッフマスク着用を継続しました。
・感染予防の為「お花見」「家族会」は今年も自粛としました。
・全利用者にアンケート調査を行い、要望に沿えるよう検討、活動プログラム作りを行いました。
・サービス提供終了後にスタッフ会議を行い、情報の共有やコミュニケーションを大切にしました。
・全スタッフへ毎月研修を行いました。
・「介護職員処遇改善加算Ⅰ」「介護職員特定処遇加算Ⅰ」を申請し、毎月支給しました。
・2023 年 4 月、12 月に「運営推進会議」を開催しました。
・「横浜市指定介護保険サービス事業者等集団指導講習会」を 11 月に受講しました。
・2023 年 11 月に送迎車を一台新車に入れ替えました。
・2023 年 12 月に日本福祉教育専門学校の実習生を受け入れました。
・2024 年 1 月に「介護サービス情報の公表」報告を行いました。

	行事・活動等	内部・外部研修・講習会	会議等
2023 年 04 月	カレンダー作り お花のマグネット作り 誕生日会	避難訓練 倫理・法令遵守	スタッフ会議 看護師会議 運営推進会議
05 月	カレンダー作り ぽかぽか地蔵作り 誕生日会	感染症・食中毒事例 発生予防と蔓延防止	スタッフ会議 看護師会議
06 月	カレンダー作り カエルの合唱作り 誕生日会	個人情報保護	スタッフ会議 看護師会議
07 月	カレンダー作り ゆらゆら風鈴作り 誕生日会	要介護度進行 予防について	スタッフ会議 看護師会議
08 月	カレンダー作り 桔梗のマグネット作り 誕生日会・夏祭り	認知症と認証ケアを学ぶ	スタッフ会議 看護師会議

09 月	カレンダー作り 肩たたき棒作り 誕生日会	避難訓練	スタッフ会議 看護師会議
10 月	カレンダー作り ドライフラワー飾り作り 誕生日会	コロナウイルス感染症 高齢者福祉施設における対応	スタッフ会議 看護師会議
11 月	カレンダー作り 毛虫のケムちゃん作り 誕生日会	身体拘束禁止 虐待防止	スタッフ会議 看護師会議
12 月	カレンダー作り 干支絵馬作り 誕生日会・クリスマス会	プライバシー保護 業務マニュアル	スタッフ会議 看護師会議 運営推進会議
2024 年 01 月	カレンダー作り バックチャーム作り 誕生日会	介護記録の書き方	スタッフ会議 看護師会議
02 月	カレンダー作り モフモフフラワー作り 誕生日会	事故事例検討	スタッフ会議 看護師会議
03 月	カレンダー作り カレンダーフック作り 誕生日会	事故・緊急時対応 事業継続	スタッフ全体会議 看護師会議

	活動日数	実人数		延べ人数		平均人数
		地域密着	相当サービス	地域密着	相当サービス	
2023 年 04 月	25 日	32 人	8 人	247 人	46 人	11.7 人
05 月	27 日	33 人	8 人	259 人	52 人	11.5 人
06 月	27 日	33 人	8 人	251 人	56 人	11.8 人
07 月	26 日	34 人	9 人	252 人	58 人	11.9 人
08 月	27 日	33 人	9 人	229 人	65 人	10.9 人
09 月	26 日	31 人	9 人	221 人	57 人	10.7 人
10 月	26 日	34 人	9 人	240 人	52 人	11.2 人
11 月	26 日	34 人	9 人	229 人	57 人	11.0 人
12 月	24 日	31 人	10 人	200 人	59 人	10.8 人
2024 年 01 月	25 日	31 人	9 人	219 人	48 人	11.1 人
02 月	25 日	29 人	12 人	185 人	59 人	10.2 人
03 月	26 日	27 人	12 人	198 人	70 人	10.3 人
合計	310 日	382 人	112 人	2,730 人	679 人	11.1 人

（2024 年3月現在　利用者利用状況）								
介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計 39 名
	3 名	7 名	20 名	4 名	5 名	0 名	0 名	
曜日別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	定員 13 名
	13 名	13 名	11 名	11 名	13 名	12 名	休	

（4）広報

・NEWSLETTER を3ヶ月に1回発行しました。
主な記事は以下の通りです。

2023 年	4 月	VOL.213	「令和 5 年度を迎えケアマネジャーの抱負を一言ずつ掲載させていただきます」
			「歯科検診のすすめ」
			「日本のコロナ対策について」
	7 月	VOL.214	「第 25 回　通常総会を開催しました」
			「理事長冒頭挨拶（抜粋）」
			「2022 年度事業報告」
			「利用者の現状」
			「熱中症に注意しましょう（高齢者の注意点）」
	10 月	VOL.215	「Day あさひ特集」
2024 年	1 月	VOL.216	「新年をむかえて」
			「オカピ 1 号車　新車に入れ替え」
			「身体的拘束適正化指針について」

・たすけあいあさひ通信を毎月発行しました。

（5）外部との連携

外部との連携をとり、学習・参加・活動してきました。

① 本部

会員	今川町自治会	事業所所在地域との結びつき
運営委員	あさがお協力隊	区認知症家族会活動協力
会員	公益財団法人かながわ生き活き市民基金	市民活動協力
会員	市民福祉団体全国協議会	事業活動に関わる保険（車以外）・情報入手

会員	旭区社会福祉協議会	地域連携
会員	県社会保険協会（日本年金機構）	社会保険
会員	かながわ福祉サービス振興会	情報入手・研修受講
会員	市民セクターよこはま	市民活動協力
会員	さわやか福祉財団	

②居宅介護支援

運営委員	旭ケアマネット	
会員	特定事業所共同研究「ほまれ会」	ケアマネ活動に関する情報入手・地域連携・研修受講
会員	日本介護支援専門員協会	
会員	県介護支援専門員協会	

③訪問介護

運営委員	旭区訪問介護事業所連絡会	ヘルパー活動に関する情報入手・地域連携・研修受講
委員	横浜市訪問介護事業所連絡会	
会員	日本ホームヘルパー部会	
運営委員	旭区自立支援協議会　ヘルパー連絡会	障害者自立支援業務に関する情報入手・地域連携
運営委員	旭区基幹相談支援センター「連」	
運営委員	旭区地域生活支援拠点「ほっとぽっと」	

④オカピ

会員	かながわ福祉移動サービスネットワーク	福祉有償運送活動に関する情報入手・研修
会員	横浜移動サービス協議会	

⑤通所介護

会員	旭区通所介護連絡会	通所事業活動に関する地域連携・情報入手

介護保険予防分野が各自治体の総合事業へ移行する中で、「介護保険」の枠にとどまらない、地域の活動が注目されてきます。
また、成年後見制度の必要性が高まってきており、成年後見担当者との連携が複数継続されています。

第2号議案

決　算　報　告　書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

たすけあいあさひ

横浜市旭区四季美台28-1

貸　借　対　照　表

（単位：円）

たすけあいあさひ　　2024年 3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未　払　金	9,815,532
現　　金	890,341	未払費用	2,705,690
普通　預金	71,949,027	預　り　金	1,291,427
定期　積金	1,685,000	未払法人税等	509,700
定期　預金	5,049,098	未払消費税	589,800
現金・預金 計	79,573,466	流動負債　計	14,912,149
(売上債権)		**負債の部合計**	14,912,149
Ｄａｙあさひ未収入金	5,387,829	**純　資　産　の　部**	
事業未収入金	23,429,699	【株主資本】	
売上債権 計	28,817,528	(利益剰余金)	
(棚卸資産)		[その他利益剰余金]	
貯　蔵　品	6,920	繰越利益剰余金	103,469,832
棚卸資産　計	6,920	利益剰余金　計	103,469,832
(その他流動資産)		株主資本　計	103,469,832
立　替　金	26,039	**純資産の部合計**	103,469,832
その他流動資産　計	26,039		
流動資産合計	108,423,953		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物付属設備	1,006,560		
車両運搬具	12,496,518		
工具器具備品	1,024,172		
減価償却累計額	△9,922,595		
有形固定資産　計	4,604,655		
(無形固定資産)			
電話加入権	189,553		
無形固定資産　計	189,553		
(投資等)			
差入保証金	5,040,000		
預　け　金	10,000		
スイカ・パスモ保証金	12,500		
リサイクル預託金	101,320		
投資等　計	5,163,820		
固定資産合計	9,958,028		
資産の部合計	118,381,981	**負債・純資産の部合計**	118,381,981

損　益　計　算　書

（単位：円）

たすけあいあさひ　　自 2023年 4月 1日　至 2024年 3月31日

【売上高】		
介護保険事業収入要介護	137,946,130	
予防サービス収入要支援	17,130,510	
要介護認定調査収入	626,230	
あんしんサポート事業	6,080,987	
移送サービス収入	4,454,066	
Dayあさひ収入（食事等）	2,189,280	
居宅介護収入（総合支援）	15,279,706	
移動支援収入（総合支援）	7,049,591	
利用者会費収入	432,300	
寄付金収入	35,000	
助成金収入	336,000	
その他の収入	35,200	
介護保険過誤修正	△814,989	
売上高　計		190,780,011
【売上原価】		
期首商品・製品棚卸高	0	
食材仕入高	1,358,048	
当期商品仕入高	1,358,048	
合　計	1,358,048	
期末商品・製品棚卸高	0	
売上原価　計		1,358,048
売上総利益		189,421,963
【販売費一般管理費】		
販売費・一般管理費計	186,253,409	
営業利益		3,168,554
【営業外収益】		
受取　利息	35,817	
雑　収　入	19,140	
営業外収益　計	54,957	
【営業外費用】		
義　援　金	500,000	
営業外費用　計	500,000	
経常利益		2,723,511
【特別利益】		
固定資産売却益	5,530	
特別利益　計	5,530	
【特別損失】		
固定資産売却原価	443,011	
特別損失　計	443,011	
税引前当期利益(損失)		2,286,030
法人税・住民税及び事業税		509,700
当期 利益　(損失)		1,776,330

介護保険事業収入内訳

補助科目	残高
訪問介護	46,002,260
Dayあさひ収入	28,910,273
居宅介護支援	63,033,597
合計	**137,946,130**

予防サービス収入内訳

補助科目	残高
訪問介護	13,004,168
Dayあさひ収入	4,126,342
合計	**17,130,510**

販売費及び一般管理費内訳書

（単位：円）

たすけあいあさひ　　自 2023年 4月 1日　至 2024年 3月31日

人件費	124,843,372
処遇改善費	12,076,167
法定福利費	17,191,373
福利厚生費	5,721,636
地代・家賃	4,725,000
広告宣伝費	259,400
減価償却費	1,408,099
修繕費	19,140
水道光熱費	1,654,005
渉外費	10,684
慶弔費	69,168
研修費	460,926
通信費	2,695,443
旅費交通費	5,595,914
印刷経費	309,157
保険料	996,293
会議費	26,719
車両関連費	783,044
リース料	1,260,326
諸会費	100,000
備品消耗品費	599,401
事務用消耗品費	509,130
教材費	99,872
図書費	12,000
ガソリン代	1,299,296
衛生費	256,807
租税公課	749,029
管理諸費	1,621,132
公表制度費	18,900
雑費	881,976
販売費・一般管理費計	186,253,409

2023年度部門比較		本部		Dayあさひ	
単位:円		2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
売上	介保訪問	46,002,260	51,763,840		
	介保居宅	63,033,597	61,056,179		
	介保Day			28,910,273	30,956,933
	予防	13,004,168	12,730,757	4,126,342	3,643,322
	Day食事等			2,179,880	2,179,880
	認定調査	626,230	869,550		
	おでかけ				
	移送	4,454,066	4,170,555		
	障害　居宅	15,279,706	16,674,247		
	障害　移動	7,049,591	5,941,593		
	あんしんサポート	6,080,987	6,329,002		
	利用者会費	432,300	475,200		
	寄付金	35,000	126,000		
	その他	8,400	14,400	36,200	44,200
	助成金	198,000	120,000	138,000	312,000
	過誤修正	-814,989	-1,357,164		
	計(A)	155,389,316	158,914,159	35,390,695	37,136,335
仕入	食材(B)			1,358,048	1,206,124
費用	人件費	102,753,202	107,371,478	22,090,170	21,123,586
	処遇改善費	9,435,366	8,849,965	2,640,801	2,565,591
	法定福利費	14,729,083	14,508,860	2,462,290	2,596,268
	福利厚生	5,336,896	5,473,726	384,740	379,526
	家賃・駐車場	2,925,000	3,225,000	1,800,000	1,800,000
	修繕費	19,140	0		25,850
	広告	259,400	229,910		0
	減価償却	827,849	67,439	580,250	284,527
	水道光熱費	674,215	641,852	979,790	1,196,828
	渉外費	10,684	3,401		0
	慶弔費	67,408	71,870	1,760	4,950
	研修費	460,926	434,424		
	通信費	2,625,348	2,897,902	70,095	64,737
	交通費	4,949,144	5,272,952	646,770	730,340
	租税公課	748,579	691,643	450	150,210
	印刷	309,157	332,789		
	保険料	822,093	812,624	174,200	218,610
	会議費	23,760	1,909	2,959	
	事務用消耗品費	340,494	304,685	168,636	140,842
	備品消耗品	347,388	909,242	252,013	41,230
	車両関連費	539,655	518,503	243,389	322,522
	リース	1,119,536	226,190	140,790	139,866
	諸会費	100,000	68,600		0
	教材		2,184	99,872	93,587
	図書	12,000	36,000		0
	ガソリン	869,324	1,039,578	429,972	447,339
	衛生費	221,972	248,194	34,835	38,317
	講師謝礼				
	寄附金				
	イベント経費		1,050		
	管理諸費	1,495,732	1,501,212	125,400	125,400
	公表制度	12,600	40,900	6,300	0
	雑費	414,551	464,770	467,425	563,193
	計(c)	152,450,502	156,248,852	33,802,907	33,053,319
外収益	利息	35,817	770		
	雑収入	19,140	0		
	固定資産益	5,530			
外費用	義援金	500,000			
雑損	固定資産売却損	443,011			
	雑損失		2		
	法人税	509,700	1,292,800		
	計(D)	-1,392,224	-1,292,032	0	0
利益A-B-C+D		1,546,590	1,373,275	229,740	2,876,892

2023年度　事業報告書

法人の名称　特定非営利活動法人たすけあいあさひ

1　事業の成果

横浜市旭区を中心とした地域福祉を担う活動は、介護保険事業をはじめ任意の地域福祉活動を持続的にしました。

介護保険では、2023年度利用者延べ　4418人の方に、訪問介護や居宅支援を行ない、サービス総時間　23576Hを提供し、ケアプラザ、区役所の困難事例も前向きに引き受けきめ細かいサービスをしました。認定調査契約数126件でした。

2　事業内容　{1} 特定非営利活動に係る事業

(1) 福祉サービスに関する事業

内容　病気・障害・高齢等で日常生活に困難をきたす方達に、生活援助・身体介護・外出支援・院内介助等サービスを提供し支援しました。

日時　2023年4月1日から2024年3月31日

場所　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

従事者人数　28名

対象者　病者・高齢者・障害(児)者

支出額　7,061,104　円

(2) 介護保険法に基づく事業

ア　介護保健法に基づく居宅サービス事業

内容　要介護高齢者の生活の自立を支援する為、訪問介護等のサービスを提供しました。

日時　2023年4月1日から2024年3月31日

場所　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

従事者人数　60名

対象者　要介護高齢者

支出額　41,756,483円

イ　介護保険法に基づく居宅介護支援事業

内容　要介護や要支援高齢者の生活の自立を支援する為、介護サービス・その他のサービスを組み合わせプランの作成等をしました。

日時　2023年4月1日から2024年3月31日

場所　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

従事者人数　8名

対象者　要介護要支援高齢者

支出額　58,699,347円

ウ　介護保険法に基づく介護予防サービス事業

内容　制度改正で第1号事業に移行しました。　活動はありませんでした。

エ　介護保険法に基づく地域密着型サービス事業

内容　　利用者の自宅まで送迎し、食事や入浴、健康チェック、機能訓練を提供しました。

場所　　横浜市旭区

日時　　2023年4月1日から2024年3月31日

従事者人数　13名

対象者　要支援要介護高齢者

支出額　30,462,347円

オ　介護保険法に基づく第一号事業

内容　　要支援の高齢者の生活の自立を支援する為、第一号事業のサービスを提供しました。

場所　　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

日時　　2023年4月1日から2024年3月31日

従事者人数　42名

対象者　要支援要介護高齢者

支出額　11,900,582円

(3)　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

内容　　障害者ができるだけ地域で自立して暮らせるようにする。という基本理念の下、身体介護　家事援助、通院等介助　同行援護のサービスを実施し、日常生活を営むのに必要な援助をおこないました。

日時　　2023年4月1日から2024年3月31日

従事者人数　　31名

場所　　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

対象者　障害（児）者

支出額　20,589,347円

(4)　自家用有償旅客運送事業

内容　　外出困難者に、福祉車両等で通院などの外出を支援していきました。

日時　　2023年4月1日から2024年3月31日

従事者人数　　8名

場所　　横浜市旭区保土ヶ谷区瀬谷区

対象者　外出困難者

支出額　3,803,467円

(5)　本会が行う事業に関する相談、研修及び啓発に関する事業

内容　　日本福祉教育専門学校における社会福祉士養成通信課程の実習生受け入れ１名を行いました。

日時　　2023年4月1日から2024年3月31日

従事者人数　10名

場所　　Ｄａｙあさひ

支出額　20,000円

(6) その他本会の目的を達成する為に必要な事業

内容　　今年度は活動ありませんでした。

活　　動　　計　　算　　書

（特定非営利活動に係る事業会計）

2023年4月1日から 2024年3月31日まで

法人の名称　　特定非営利活動法人たすけあいあさひ

（単位：円）

科　目			金　額	
Ⅰ 経常収益				
1 入会金・会費収入				
① 利用会員　入会金年会費			432,300	
② 正会員　年会費			0	
2 事業収益				
[1] 特定非営利活動に係わる事業収入				
(1) 福祉サービスに関する事業収益			8,270,267	
(2) 介護保険法に基づく事業収益				
ア 介護保険法に基づく居宅サービス				
事業収入利用料			45,285,180	
イ 介護保険法に基づく居宅支援				
事業収入利用料			63,659,827	
ウ 介護保険法に基づく介護予防				
サービス事業収入			0	
エ 介護保険法に基づく地域密着型				
サービス事業収入利用料			33,036,615	
オ 介護保険法に基ずく第一号事業				
収入利用料			12,906,259	
(3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合				
的に支援するための法律に基づく障害				
福祉サービス事業収入			22,329,297	
(4) 自家用有償旅客運送事業			4,454,066	
(5) 本会が行なう事業に関する相談、研修収益			22,000	
(6) その他本会の目的を達成する為の収益			0	
3 寄付金			35,000	
4 助成金			336,000	
5 その他の収入（預金利息）			73,687	
経常収益計				190,840,498
Ⅱ 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費		112,892,964		
処遇改善費		12,076,167		
法定福利費		15,823,001		
福利厚生費（中退共含）		5,721,636		
通勤費		225,310		
人件費計		146,739,078		

(2) その他経費			
地代家賃	4,725,000		
広告宣伝費	259,400		
減価償却費	1,408,099		
渉外費	10,684		
水道光熱費	1,654,005		
慶弔費	69,168		
研修費	460,926		
通信費	2,695,443		
交通費	5,370,604		
印刷経費	309,157		
保険料	996,293		
会議費	26,719		
車両関連費	783,044		
リース料	1,260,326		
諸会費	100,000		
備品消耗品費	599,401		
事務用消耗品費	509,130		
教材費	99,872		
図書費	12,000		
ガソリン代	1,299,296		
衛生費	256,807		
修繕費	19,140		
租税公課	749,029		
管理諸費	1,621,132		
公表制度費	18,900		
雑費	881,976		
食材仕入	1,358,048		
その他経費計	27,553,599		
事業費計		174,292,677	
2 管理費			
(1) 管理人件費	8,725,008		
役員報酬	3,225,400		
法定福利費	1,368,372		
人件費計	13,318,780		
(2) その他経費未払法人税	509,700		
管理費計		13,828,480	
経常費用計			188,121,157
(1) 営業外費用			
固定資産売却原価	443,011		
義援金	500,000		
経常外損失計		943,011	
当期経常増減額			1,776,330
当期正味財産増減額			1,776,330
前期繰越正味財産額			101,693,502
次期繰越正味財産額			103,469,832

貸 借 対 照 表

（特定非営利活動に係る事業会計）

2024年3月31日現在　　単位:円

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人たすけあいあさひ

科　　目	金　額		
Ⅰ資産の部			
1 流動資産			
現金預金	79,573,466		
売上債権	28,817,528		
棚卸資産	6,920		
立替金	26,039		
流動資産合計		108,423,953	
2 固定資産			
建物付属設備	1,006,560		
車両運搬具	12,496,518		
工具器具備品	1,024,172		
減価償却累計額	-9,922,595		
		4,604,655	
無形固定資産			
電話加入権	189,553		
投資等			
差入保証金	5,040,000		
ガス預け金	10,000		
イオカード保証金	12,500		
リサイクル預託金	101,320		
固定資産合計		9,958,028	
資産合計			118,381,981
Ⅱ負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,815,532		
未払費用	2,705,690		
預り金	1,291,427		
未払法人税等	509,700		
未払消費税	589,800		
流動負債合計		14,912,149	
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
			14,912,149
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		101,693,502	
当期正味財産増減額		1,776,330	
正味財産合計			103,469,832
負債及び正味財産合計			118,381,981

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

特定非営利活動法人 たすけあい あさひ

2024年3月31日現在(単位:円)

科目・摘要		金額		
Ⅰ. 資産の部				
1. 流動資産				
現金	手元有高	890,341		
普通預金		71,949,027		
定期積金	郵便局　定額貯金	1,685,000		
定期預金		5,049,098		
売上債権		28,817,528		
貯蔵品		6,920		
立替金		26,039		
	流動資産合計		108,423,953	
2. 固定資産				
建物付属設備		1,006,560		
車両運搬具		12,496,518		
工具器具備品		1,024,172		
減価償却累計額		-9,922,595		
電話加入権		189,553		
差入保証金		5,040,000		
ガス預け金		10,000		
イオカード保証金		12,500		
リサイクル預託金		101,320		
	固定資産合計		9,958,028	
	資産の合計			118,381,981
Ⅱ. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	3月分人件費他	9,815,532		
未払費用	3月分電話代他	2,705,690		
預り金	源泉徴収税　住民税	1,291,427		
未払法人税等		509,700		
未払消費税		589,800		
	流動負債合計		14,912,149	
2.固定負債				
	固定負債	0		
	固定負債合計		0	
	負債の部合計			14,912,149
	正味資産			103,469,832

特定非営利活動法人たすけあいあさひ

２０２３年度　会計監査報告

２０２３年度決算を報告いたします

特定非営利活動法人

たすけあいあさひ

代表理事　　牧野　洋子

２０２３年度決算報告を監査しましたところ、相違ないことを認めご報告致します。

2024年　5月　25日

監事　倉田百合子

2024年　5月　28日

監事　江口駿郎

第3号議案　2024年度事業計画（案）

1. 事業計画概要

高齢社会が加速し、社会全体では医療介護分野が成長産業と目されているそうです。常に医療と介護がひとくくりに集計されていることが気がかりではありますが、医療でも「治す」ことのみに軸足を置かず、生活に沿う医療が浸透してきています。「訪問介護が衰退すると大変なことになる」と発言する医者もおられます。

働ける人口が減少していくのですから、業務効率に努めることは私たちの義務でもあります。よい待遇を提示して若い人を集めようとする力のある事業所も見られます。

活動開始当初から、私たちは丁寧に個々の人々に沿う介護を目指してきました。その持てる力を引き出し明日につなぐよう支援しています。それは社会に必要とされている業務でもありますが、現状、職種待遇としては全く不十分であり、その是正に何とかして取り組まなければなりません。そしてともに仕事をする仲間を一人でも増やすことを、今年度も最重要課題として取り組みます。

①働く仲間を増やします。

②「生活安心サポート事業」、移動困難な方たちへの「福祉有償運送、オカピ」などの制度外サービスを今より効率よい運営に近づけていけるか、またそのサービスの必要性を担う会員全員の合意としていけるか、時間をかけて検討していきます。

③虐待防止・身体拘束等適正化委員会の定例開催
私たちの業務は「尊厳の保持」（介護保険法）「基本的人権を享有する個人としての尊厳」（障害者総合支援法）を守ることを土台として成り立っています。
先行した児童虐待防止、高齢者虐待防止に続き 2011 年障害者虐待防止の法令が作られましたがその改善は進まず、近年、業務を行う各事業所の中に直接責任部署を設け防止に取り組むことが義務化されました。

④ハラスメント防止委員会の定例開催
児童高齢障害等の弱者とされる方のみでなく、ハラスメントも社会で防がなければならない、人権への侵害として注視されるようになりました。社会の全機関・事業所がまず就業規則に位置付け取り組みが義務化されました。

⑤個人情報保護委員会定例開催
変更が重ねられる個人情報保護規定の理解周知を続けます。

⑥衛生委員会の開催
ストレスチェック、予防接種の取り組みを継続し、健康診断受診について産業医の指導助言を続けます。

⑦前記　③から⑥の各委員会開催及び報告は全体会の年間計画に位置付けます。

⑧災害・感染症事業継続計画は各事業所年 1 回見直しに取り組みます。

⑨法人避難訓練実施

災害・感染症事業継続計画の存在は各事業所なのですが、実災害では法人全体としての対処となります。備品としては法人が主に整えること及び年1回9月に法人としての全員避難訓練を実施し、振り返り、記録します。

2. 事業内容

（1）居宅介護支援事業

・特定事業所加算Ⅱを継続しケアマネジメントの質の向上を図ります。
・横浜市より指定を受け介護予防支援を実施します。
・介護支援専門員の必須研修をはじめ、内部・外部研修にも積極的に参加し、自己研鑽に励みます。
・困難事例等のケースについては、事例検討会や週1回の会議で共有。問題の明確化や対応方法などの検討を随時行い情報の共有を行います。
・包括支援センターと協力し地域ケア会議に参加、援助技術の向上に努めます。
・地域の他事業所と合同（ほまれ会）で年 2 回の研修会を企画し、地域全体の介護支援専門員の資質向上に努めます。
・旭ケアマネットの運営委員を継続します。
・地域包括や区役所、民生委員、医療機関やサービス事業所と密に連携を図ります。
・新規契約者の円滑な獲得と適正な運営に努めます。
・必要に応じ、インフォーマルサービスが包括的に提供される居宅サービス計画を作成します。
・ICT を活用し生産性の向上、業務負担の軽減や効率化を図ります。
・実習生の研修受け入れ体制を整えます。
・主任ケアマネ取得のため 2 名研修受講します。
・人材確保と育成を図ります。
・個人情報取り扱いには細心の注意を払い法令遵守し適正に管理します。
・苦情や要望等には誠意を持ち対応し、課題改善の好機とします。
・地域の課題や特性を見極め、地域包括システムを勧める実践者として動きます。

活動者延べ人数（人）	100
利用者延べ人数（人）	3,230
予防利用者延べ人数（人）	1,200
認定調査契約（件）	110

（2）訪問介護事業

サービス提供責任者会議を毎月２回開催し、訪問介護事業所運営について協議を重ね、収支やリスク管理について話し合い、問題解決を図っていきます。

① 介護保険事業

【訪問介護・第一号訪問事業（横浜市訪問介護相当サービス）】

・介護の必要な利用者を積極的に受けていきます。
・今後も増大する介護ニーズへの対応や、質の高い介護サービス確保の観点から、ヘルパーの安定的な確保を図り、ヘルパー募集を呼びかけます。
・ヘルパー募集チラシを作成し、インターネット会社に依頼して掲載を考えていきます。
・サービスの質の向上の為の内部研修・外部研修を実施していきます。
・特定事業所加算について引き続き検討していきます。
・業務の効率化のため、カイポケシステムの打ち込みなど、ICT 化を推進していきます。
・ヘルパーに個人情報の適切な取り扱いのための研修を行い、チェックリストと個人情報保護に関する誓約書を取り交わします。
・処遇改善手当をヘルパーに支払います。
　＊生活援助賃金への上乗せ
　＊身体介護賃金への上乗せ
　＊活動時間に応じて一時金の支払い
　＊サービス提供責任者、常勤、准常勤ヘルパーへの月額支給
・契約書、マニュアルの見直しをしていきます。
・利用者アンケートを行い、サービスの質の向上を目指し改善していきます。
・今年度も引き続き、感染症の拡大を防ぐ対策として、常にマスク、ディスポ手袋、手指消毒剤の配布をしていきます。
・介護保険の公表制度の届け出をします。

活動者延べ人数（人）	700
利用者延べ人数（人）	2,000
総活動時間数（時間）	16,000

② 介護保険外の公的ホームヘルプ事業

＜障害者総合支援＞

・障害者総合支援法における居宅介護、同行援護及び移動支援のサービスを提供します。

・処遇改善手当をヘルパーに支払います。

＊家事援助賃金への上乗せ

＊身体介護賃金への上乗せ

＊活動時間に応じて一時金の支払い

＊サービス提供責任者、常勤・準常勤ヘルパーへの月額支給

・個人情報の取り扱いについてチェックリストを作成し、サービス提供責任者及びヘルパーに周知し、適切な管理を行います。

・障害の公表制度の届出をします。

活動者延べ人数（人）	450
利用者延べ人数（人）	600
総活動時間数（時間）	5,500

③ 任意ホームヘルプ活動（横浜市生活あんしんサポート事業）

介護保険の認定が決定するまでの方、介護保険や障害者総合支援法の非該当の方、公的介護を受けられず日常生活に一時的に支障のある方、通院介助（医療機関内での見守り等含む）公的制度だけでは日常生活を自立出来ない追加ケアなど、利用者の様々なニーズに対応していきます。

活動者延べ人数（人）	450
利用延べ世帯数（世帯）	450
活動延べ件数（件）	2,500
総活動時間数（時間）	3,000

④ 移送サービス「オカピ」

・可能な限り多くの利用者が、安心して外出できるように、安全、安心を第一に考え、サービスの提供を行います。

・毎月の車両点検を行い、安全な運行に努めます。

・整備に関しては、トヨタ、ダイハツ、ホンダへの連携を密に行います。

・運転者に対して、始業前の健康チェックを行い、健康管理・運行管理に留意します。

・始業時と終業時に検知器を使用したアルコールチェックを継続して実施します。

・安心・安全なサービスの提供の為に、外部研修に参加し、意識を高めます。

・毎月オカピ会議を開き、ヒヤリハットを話し合い、情報を共有し、事故を未然に防ぐ対策や安全運転についての意識向上を図ります。
・横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券の取り扱いをします。
・ドライバーの内部研修を行い、質の向上に努めます。
・新しいドライバーを増員して、一人でも多くの利用者のニーズに応えていきます。
・移送サービスに加え、外出先での付添・歩行介助・車いす介助等のサービス提供も積極的に対応していきます。
・感染症対策として、安全に利用していただけるようドライバーのマスク着用、車内の消毒・換気を行い感染予防の継続をしていきます。

活動者延べ人数（人）	120
利用者延べ人数（人）	750
活動延べ件数	4,300

外出支援

任意外出ケア

福祉車両を使って利用者の希望に沿って外出できるように、安全第一とし、可能な限り実施します。

⑤ 研修

① 内部研修

ヘルパー全体のスキルアップを目指して研修を計画していきます。

2024 年	6 月 3 日(月)・8 日(土)・9 日(日)・12 日(水)・14 日(金)・18 日(火)・27 日(木)	マナーと接遇・倫理と法令遵守・プライバシー保護の取り組み・苦情対応・緊急時の対応・事故対応と再発防止・高齢者虐待防止・障害者虐待防止・身体拘束適正化・感染症等の予防、蔓延防止・業務継続計画・ハラスメントの防止対策・認知症と認知症ケア・職業能力自己評価・各自目標設定
	9 月	利用者がよく使う薬の知識 Q＆A
	11 月	精神疾患のある利用者への支援を考える 高齢者虐待防止 身体拘束適正化
2025 年	2 月	あいまいゾーン

＊個人情報保護はヘルパー全員に周知出来るよう、研修の度に実施します。
ヒヤリハット・苦情・事故報告は、毎月２回のサービス責任者会議で検討し、あさひ通信でヘルパーに伝え、事故防止また再発防止に努めます。

② 外部研修

サービス提供責任者、常勤・准常勤ヘルパーのスキルアップの為の研修として位置付けます。

お茶の水ケアサービス学院のフォローアップ研修ネット配信を利用し、積極的に活用していきます。

(3)地域密着型通所介護・通所介護相当サービス

・「その人らしさ」を大切にし、利用者の立場に立ったサービスの提供を行います。
・感染予防対策を継続し、営業が継続できるよう努めます。
・スタッフ全員に対し年間研修プログラムを遂行、サービスの質の向上を目指します。
・サービス提供終了後、スタッフ会議を行いスタッフ同士の連携と情報共有を図ります。
・利用者・家族にアンケート調査を行い、ニーズに応じた活動プログラム作りを行います。
・日常生活動作・生活の質の向上を目指し、個別機能訓練・口腔機能向上加算に力を入れます。
・利用者や家族とのコミュニケーションの場を設ける為「家族会」を開催します。
・市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関、他福祉サービス等と連携を図り、より良いサービスの提供ができるよう努めます。
・良いサービス提供の為、スタッフ全員、年に一度の健康診断、体調管理に努めます。
・「介護福祉士」資格取得希望者に支援・シフト等の配慮を行います。
・取得した個人情報は利用目的を厳守し適切に管理します。
・月平均利用者人数 11 名を目指します。

利用者延べ人数	3388 人
月平均人数	11 人

令和6年度年間研修プログラム		
開催月	会議等	Web研修・外部研修
4 月	看護師会議・スタッフ会議 全体会議	倫理・法令遵守 避難訓練(利用者＆スタッフ)
5 月	看護師会議・スタッフ会議	感染症、食中毒事例検討 発生予防と蔓延防止
6 月	看護師会議・スタッフ会議 運営推進会議	個人情報保護 スタッフ業務
7 月	看護師会議・スタッフ会議	介護予防 要介護度進行予防について
8 月	看護師会議・スタッフ会議	認知症と認知症ケア 入浴・食事・排泄介助
9 月	看護師会議・スタッフ会議	避難訓練(利用者＆スタッフ)
10 月	看護師会議・スタッフ会議	虐待とは・虐待防止一斉点検

11 月	看護師会議・スタッフ会議 業務＆マニュアル改善会議	身体拘束と廃止 介護記録の書き方
12 月	看護師会議・スタッフ会議 運営推進会議	プライバシー保護 スタッフ業務について
1 月	看護師会議・スタッフ会議	事故・緊急時再発防止対応 事故事例検討
2 月	看護師会議・スタッフ会議	非常災害時の対応と役割分担
3 月	看護師会議・スタッフ会議	入浴・食事・排泄介助

(4)広報

・「NEWSLETTERあさひ」を季刊誌として発行します。

ホームページでも掲載します。 http://tasukeaiasahi.or.jp

・職員対象に、毎月たすけあいあさひ通信を発行します。

(5)外部との連携

各々のつながりの意義を踏まえて、連携・活動していきます。

① 本部

会員	今川町自治会	事業所所在地域との結びつき
運営委員	あさがお協力隊	区認知症家族会活動協力
会員	公益財団法人かながわ 生き活き市民基金	市民活動協力
会員	市民福祉団体全国協議会	事業活動に関わる保険(車以外)・情報入手
会員	旭区社会福祉協議会	地域連携
会員	県社会保険協会(日本年金機構)	社会保険
会員	かながわ福祉サービス振興会	情報入手・研修受講
会員	市民セクターよこはま	市民活動協力
会員	さわやか福祉財団	

②居宅介護支援

運営委員	旭ケアマネット	ケアマネ活動に関する情報入手・地域連携・研修受講・他法人との合同研修・研究会
運営委員	ほまれ会	
会員	日本介護支援専門員協会	
会員	県介護支援専門員協会	

③訪問介護

会員	旭区訪問介護事業所連絡会	ヘルパー活動に関する情報入手・地域連携・研修受講
会員	横浜市訪問介護事業所連絡会	

会員	日本ホームヘルパー部会	
運営委員	旭区自立支援協議会　ヘルパー連絡会	障害者自立支援業務に関する情報入手・地域連携
	旭区基幹相談支援センター「連」	
	旭区地域生活支援拠点「ほっとぽっと」	

④オカピ

会員	かながわ福祉移動サービスネットワーク	福祉有償運送活動に関する情報入手・研修
会員	横浜移動サービス協議会	

⑤通所

旭区通所介護連絡会	通所事業活動に関する地域連携・情報入手

第4号議案　2024年度(令和6年度)　予算書(案)

自　2024年4月 1日　　特定非営利活動法人
至　2025年3月31日　　たすけあい あさひ

単位：円

科目名	金額	科目名		金額
Ⅰ.収入		Ⅱ．支出		
１．事業収入		1.	食材仕入高	1,400,000
居宅支援事業収入	57,800,000	2.	人件費(処遇改善費含む)	120,000,000
居宅介護予防支援事業収入	5,350,000	3.	法定福利費	17,000,000
訪問介護事業収入(処遇改善費含む)	46,000,000	4.	福利厚生費	6,000,000
日常生活支援総合事業（予防）	13,000,000	5.	地代家賃	5,000,000
地域密着型通所事業収入食事収入他	35,400,000	6.	修繕費	200,000
要介護認定調査収入	600,000	7.	広告宣伝費	500,000
あんしんサポート事業	6,100,000	8.	減価償却費	1,500,000
移送サービス収入	4,500,000	9.	水道光熱費	1,700,000
居宅介護収入(障害者支援)	15,300,000	10.	渉外費	100,000
移動支援収入(障害者支援)	7,050,000	11.	慶弔費	100,000
その他の収入	100,000	12.	研修費	600,000
		13.	通信費	2,700,000
		14.	旅費交通費	5,500,000
		15.	租税公課(消費税を除く)	200,000
		16.	印刷経費	400,000
		17.	保険料	1,000,000
		18.	会議費	500,000
		19.	事務用消耗品費	500,000
		20.	備品消耗品費	1,000,000
		21.	車両維持費	1,000,000
		22.	リース料	1,000,000
		23.	諸会費	100,000
２．会費・入会金収入		24.	教材費	100,000
		25.	図書費	200,000
利用者入会金年会費	500,000	26.	ガソリン代	1,500,000
		27.	衛生費	500,000
		28.	講師謝礼費	50,000
		29.	管理諸費	1,650,000
		30.	公表制度費	100,000
		31.	雑費	1,000,000
		32.	周年事業費	0
3.雑収入				
寄付金　受取利息他	200,000			
当期収入合計(A)	191,900,000	当期支出合計（B）		173,100,000
		法人税消費税等（C）2023年度分		1,104,968
		当期利益(A-B-C)		17,695,032
		前期繰越　現預金		79,573,466
		次期繰越金		97,268,498

第５号議案　役員選任について

定款第１５条

　理事及び監事は総会において選任する

定款１８条

　理事及び監事の任期は２年とする

上記により、今年度役員改選を行います。

＜資　料－1＞

関連資格保持者数

2024.3.31 現在

資　格	人　数	資　格	人　数
主任介護支援専門員	３人	知的障害者ガイドヘルパー	９人
介護支援専門員	９人	行動援護従事者	３人
介護福祉士	４０人	同行援護従業者養成研修一般課程	７人
介護職員初任者研修 旧ヘルパー１級・２級	３７人	同行援護従業者養成研修応用課程	８人
実務研修修了者	０人	福祉有償運送運転者及びセダン等 運転者講習修了者	１６人
介護職員基礎研修修了者	３７人	防火管理者	２人
正看護師・准看護師	５人	調理師	２人
精神障害者ホームヘルパー	２９人	社会福祉士	２人
視覚障害ガイドヘルパー	２３人	第二種衛生管理者	３人
身体障害者ガイドヘルパー	４４人		

会員の構成推移

2024.3.31　現在

	任意利用会員	活動会員
１９９２年度末	個人　２３名　と　５団体	５６名
１９９３年度末	個人　４０名　と　５団体	８０名
１９９４年度末	個人　７０名　と　７団体	１００名
１９９５年度末	個人　６４名　と　８団体	９６名
１９９６年度末	個人　７２名　と１０団体	１１７名
１９９７年度末	個人　６０名　と１０団体	１１４名
１９９８年度末	個人　８５名　と　９団体	１１８名
１９９９年度末	個人１１１名　と　７団体	１４３名
２０００年度末	個人１０８名　と　９団体	１８６名
２００１年度末	個人１５６名　と　２団体	２１５名
２００２年度末	個人１６１名　と　２団体	２２３名(加入 31 退会 23)
２００３年度末	個人１４６名　と１０団体	２１４名(加入 18 退会 27)
２００４年度末	個人１５２名　と１１団体	２１５名(加入 24 退会 23)
２００５年度末	個人１６４名　と　２団体	１８５名(加入　5 退会 35)
２００６年度末	個人１５５名　と　３団体	１７６名(加入 15 退会 24)
２００７年度末	個人１５６名　と　２団体	１７６名(加入 17 退会 17)
２００８年度末	個人１２２名　と　２団体	１８３名(加入 18 退会 17)
２００９年度末	個人１２０名　と　２団体	１７９名(加入 15 退会 19)
２０１０年度末	個人１２５名　と　２団体	１８６名(加入 12 退会 5)
２０１１年度末	個人１４０名　と　２団体	１８０名(加入 10 退会 16)
２０１２年度末	個人１２２名　と　５団体	１７９名(加入 11 退会 12)
２０１３年度末	個人１２６名　と　５団体	１７３名(加入 14 退会 20)

２０１４年度末	個人１２４名　と　５団体	１６３名(加入 9 退会 19)
２０１５年度末	個人１２３名　と　５団体	１５１名(加入 6 退会 18)
２０１６年度末	個人１１０名　と　５団体	１４４名(加入 6 退会 14)
２０１７年度末	個人１１０名　と　５団体	１３４名(加入 5 退会 15)
２０１８年度末	個人１６２名　と　３団体	１３９名(加入 10 退会 5)
２０１９年度末	個人１４７名　と　３団体	１３５名(加入 5 退会 9)
２０２０年度末	個人１４０名　と　３団体	１３０名(加入 8 退会 13)
２０２１年度末	個人１３０名　と　４団体	１２１名(加入 6 退会 14)
２０２２年度末	個人１３０名　と　３団体	１０５名(加入 2 退会 18)
２０２３年度末	個人１１６名　と　３団体	９０名 (加入 3 退会 18)

任意利用団体会員の内訳

2024.3.31 現在

団体の内訳	数	団体所在地
グループホーム	＜継続＞　3 ヶ所 ＜新規＞　0 ヶ所	西川島町・川島町・万騎が原

＜資　料－2＞

利用者の現状

2024年3月末のたすけあいあさひの介護保険居宅介護支援事業、予防居宅介護支援委託と、
訪問介護事業・通所介護事業の通算利用者は477人（2023年490人）でした。
（通算利用者とはあさひのサービスを複数利用している場合1人と算定）
2023年の旭区の事業所数は、介護保険居宅介護支援事業所57(2023年57)、
訪問介護54（2023年57）です。

（資料:介護情報サービスかながわ）

介護保険利用者数(2024 年 3 月末現在)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合　　計
たすけあいあさひ	31	113	74	151	64	29	15	477

その他利用者数(2024 年 3 月現在)

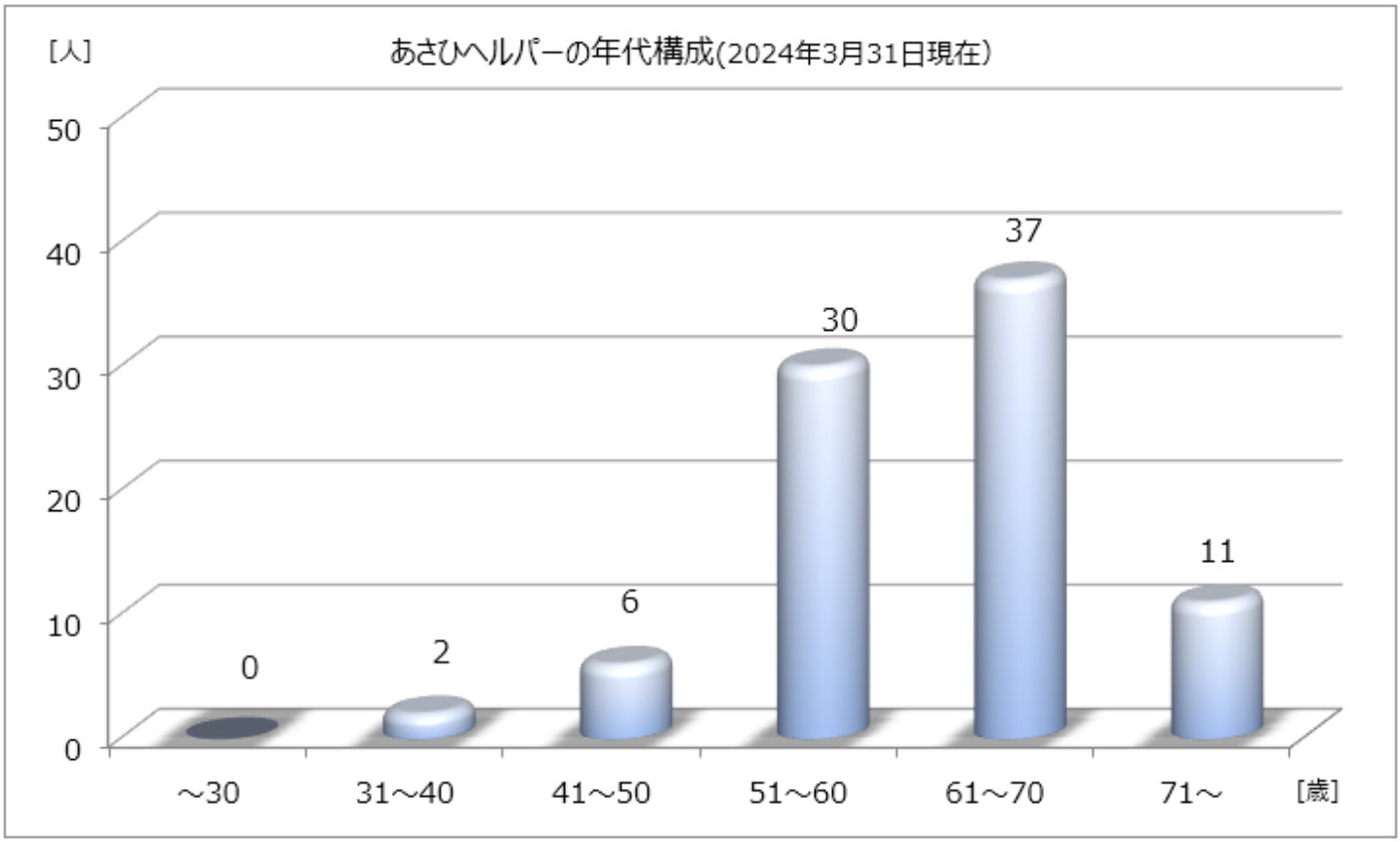
	任意		障害者自立支援
	オカピ	在宅	
利用者数	16	35	48

任意活動区分別利用者数(世帯)

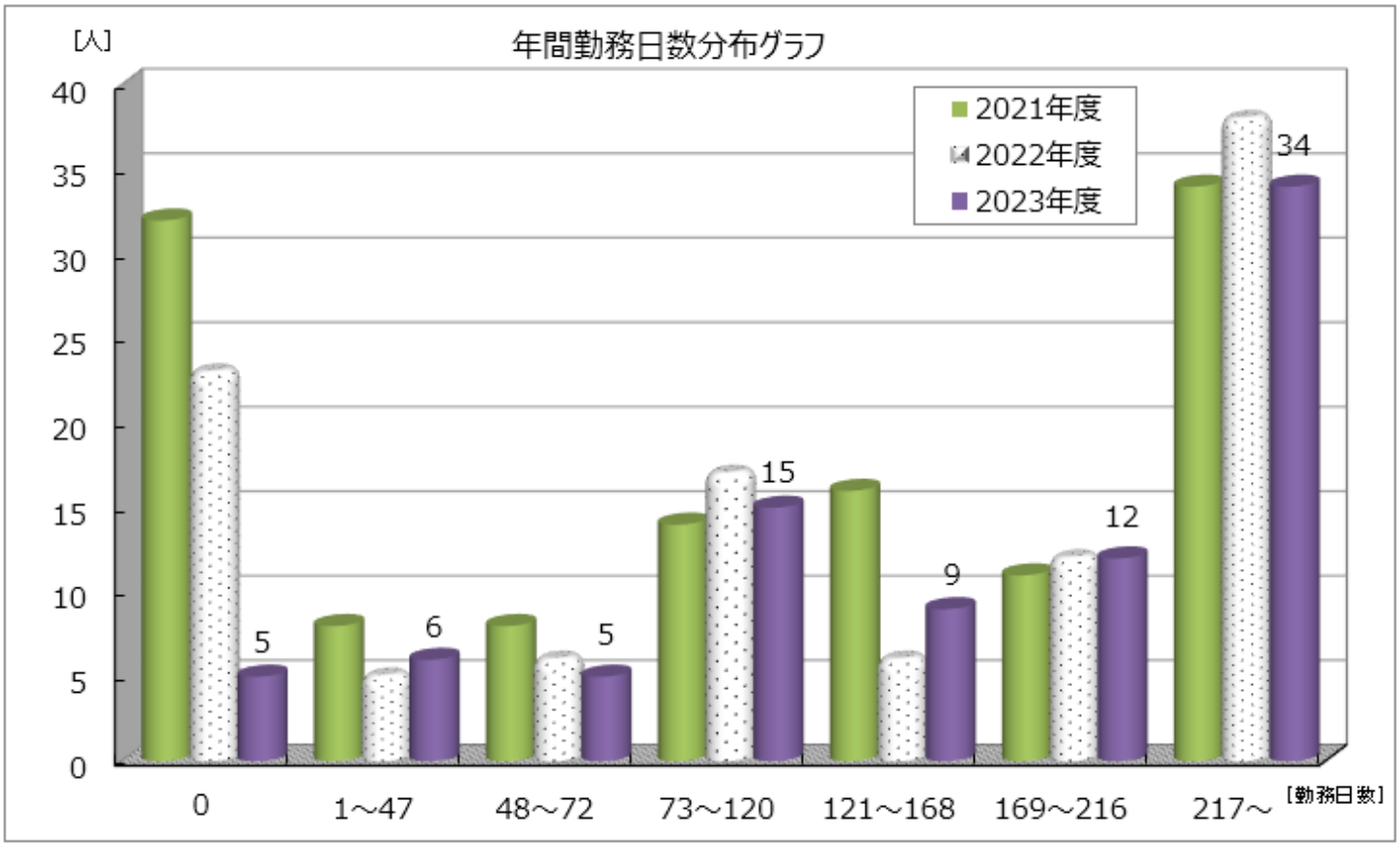
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高齢者	家事	12	12	11	13	10	11	11	9	10	9	9	9	126
	介助	17	24	17	21	23	23	18	16	26	24	17	19	245
病人のいる家庭	家事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者のいる家庭	家事	1	1	1	3	1	1	1	2	2	0	1	0	14
	介助	1	3	3	2	3	3	4	3	4	3	3	4	36
一人親家庭・産前産後・子守り		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	家事	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	介助	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
移動サービス		13	13	11	16	16	16	18	18	17	15	13	15	181
合計		47	56	46	59	56	57	55	51	62	54	46	50	639

＜資　料－3＞

あさひヘルパーの現状



下の表の勤務日数は、労働基準法の年次有給休暇付与日数で分類してあります。
年間48日以上の勤務から年次有給休暇が認められます。



２０２３年度　役員

理事	牧野　洋子
	川瀬　久美子
	鈴木　紀子
	石山　京美
	木村　正明
	竹村　ゆき子
	植村　栄理子
	長谷川　由美
	眞垣　まゆみ
	星野　孝子
監事	江口　幹郎
	倉田　百合子